

## 日本菌学会第 57 回大会(東京)プログラム

主 催： 日本菌学会  
 日本菌学会会長 奥田 徹  
 期 日： 2013 年 6 月 7 日(金)～9 日(日)  
 会 場： 東京農業大学 〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1  
 大会事務局： 東京農業大学 地域環境科学部 電子顕微鏡室  
 日本菌学会第 57 回大会実行委員会事務局  
 大会会長 矢口 行雄  
 PHONE & FAX 03-5477-2636 E-mail mycology@nodai.ac.jp

### 日 程：

#### 6 月 7 日(金)

10:00-12:00	編集委員会	1 号館 5 階 543 教室
12:30-14:30	理事会	1 号館 1 階 142 教室
14:30-17:00	評議員会	1 号館 1 階 142 教室
17:00-19:00	合同懇親会	食と農の博物館 Cafe Petit Radish

#### 6 月 8 日(土)

8:00 より	受付	百周年記念講堂 (～15:00 まで)
9:00-10:00	総会	百周年記念講堂
10:00-10:40	授賞式および受賞者講演	百周年記念講堂
10:45-12:00	特別報告	百周年記念講堂
	「メルボルン規約発効に伴ったテレオモルフ-アナモルフ学名の統一に関する議論の現状」	
12:00-13:00	高校生ポスター(11:00～)	D 会場
12:00-13:00	昼食・休憩	
13:00-15:15	公開シンポジウム(無料)	百周年記念講堂
	「菌食の世界 ～コウジカビときのこ～」	
15:15-15:45	高校生ポスター表彰式	百周年記念講堂
15:30 より	受付	総合受付 1 号館 5 階
15:45-17:30	口頭発表	A 会場, B 会場, C 会場
18:00-20:00	懇親会	大学生協 カフェテリアグリーン

#### 6 月 9 日(日)

8:00 より	受付	総合受付 1 号館 5 階
9:00-11:00	口頭発表	A 会場, B 会場, C 会場
11:00-13:00	ポスター発表	D 会場
12:00-13:00	昼食・休憩	
13:00-16:15	口頭発表	A 会場, B 会場, C 会場
16:30 より	閉会式	C 会場

A 会場 1 号館 5 階 531 教室  
 B 会場 1 号館 5 階 532 教室  
 C 会場 1 号館 5 階 542 教室  
 D 会場 1 号館 6 階 多目的ホール (ポスター会場)  
 E 会場 1 号館 6 階 632 教室 (休憩室)  
 F 会場 1 号館 6 階 633 教室 (展示会場)

## 大会案内

### 1. 受付

事前登録参加者, 当日参加者, 招待参加者, いずれの方も必ず総合受付で手続きを行ってください。総合受付は, 8 日(土) 8:00~15:00 の間は百周年記念講堂 2 階にて行います。8 日(土)15:30~18:00 および 9 日(日)8:00 から, 1 号館 5 階にて行います。

当日参加費は以下の通りです。

- 大会参加費(講演要旨集代を含む)

通常会員	8,000 円
学生会員	6,000 円
非会員	9,000 円
- 懇親会参加費

通常会員および非会員	7,000 円
学生会員	4,000 円
- 講演要旨集のみ 1 部 2,000 円

懇親会参加希望者が多数の場合は, 予定人数に達した時点で当日受付を締め切らせていただくことがあります。ご希望の方は事前になるべく早く大会事務局にお申し込みください。

### 2. 名札

領収書兼用の名札は郵送せず, 当日発行いたします。

### 3. 口頭発表

- 口頭発表の持ち時間は 15 分(12 分発表, 3 分討論)です。
- 発表には Windows MS PowerPoint を用いてください。
- ファイル名は, 講演番号+氏名としてください。
- 発表用のファイルを講演番号と氏名を明記した CDR または DVD-R に入れてご持参ください(USB メモリでの受付はいたしません)。
- 6 月 8 日(土)および 9 日(日)午前中の口頭発表は 6 月 8 日(土)8:00~14:40 の間に, 9 日(日)午後の発表は当日 8:00~12:40 の間までに, 各会場の担当者に CDR/DVD-R を渡してください。コンピュータにコピーしますので, 試写, 確認してください。コピーしたファイルは実行委員会で責任を持って削除いたします。
- 講演中のコンピュータ操作は演者自身でお願いいたします。

- CDR/DVD-R は講演終了後当日夕方までに総合受付にて返却いたします。受け取れない場合は廃棄します。

### 4. ポスター発表

- 1 号館 6 階多目的ホールの掲示ボードに, 備え付けのテープで掲示してください。
- ポスターは**縦長**で, 大きさは最大 A0 版です。縦 118cm×横 84cm の範囲で収まるようポスターを作成してください。
- 6 月 8 日(土)13:00 までに掲示してください。
- 発表コア・タイムは 9 日(日)11:00~13:00 です。適宜ポスター前に立ってご発表ください。なお, 高校生ポスター発表のコアタイムは 8 日(土)11:00~13:00 です。
- 6 月 9 日 16:00 までに撤去してください。それ以降残っているポスターは廃棄します。
- テープは所定の場所にご返却ください。

### 5. 昼食

- 大会期間中, 大学構内の食堂は営業しておりますが, 会場周辺にはレストラン, コンビニなど多数ありますので, そちらもご利用ください。大会事務局では弁当のお世話をいたしません, 会場周辺案内図をご用意します。
- 昼食は学内の食堂, E 会場または学外でお取りください。A~C 会場では飲食できません。

### 6. 休憩室

- E 会場にコーヒー, 紅茶, 緑茶などを用意してありますので, ご自由にご利用ください。
- ただし A 会場, B 会場, C 会場内はすべて飲食厳禁ですので, ご承知おきください。

### 7. 喫煙

- いずれの建物内も禁煙です。喫煙は戸外の灰皿の用意してある場所のみにてお願いいたします。

日本菌学会第 57 回大会(東京)プログラム

6 月 8 日(土) 東京農業大学百周年記念講堂

時刻	
9:00	総会
10:00	各種授与式・受賞者講演 座長 奥田徹 玉川大学学術研究所  日本菌学会奨励賞 AW01 <i>Pythium</i> 属の分類および分子系統学的研究 堀橋志穂美 アルバータ大学農業食品栄養科学部
10:45	特別報告 「メルボルン規約発効に伴ったテレオモルフ-アナモルフ学名の統一に関する議論の現状」 座長 青木孝之 農業生物資源研究所  S01 <i>Penicillium</i> , <i>Aspergillus</i> の統一名の動向 矢口貴志 千葉大学 真菌医学研究センター  S02 多型性を持つ植物寄生菌の学名の動向 中島千晴 三重大学大学院 生物資源学研究科  S03 国際植物命名規約改定に伴ういもち病菌属名に関する議論の現状 中馬いづみ 神戸大学大学院 農学研究科
11:00	高校生ポスターコアタイム (～13:00)
12:00	昼食
13:00	公開シンポジウム 「菌食の世界 ～コウジカビときのこ～」 座長 柏木豊 東京農業大学 応用生物科学部醸造科学科 座長 江口文陽 東京農業大学 森林総合科学科  S04 コウジカビの産業利用とゲノム情報解明後の展開 楠本憲一 (独)農研機構食品総合研究所  S05 塩糶が教えるコウジ食のおいしさと健康 前橋健二 東京農業大学醸造科学科 浅利妙峰 (有)糶屋本店  S06 日本の食用きのこ 長澤栄史 (財)日本きのこセンター菌茸研究所  S07 多機能性キノコの生理活性発現機構解明へのケミカルバイオロジー ～霊芝( <i>Ganoderma lingzhi</i> )に着目して～ 清水邦義 九州大学大学院農学研究院森林圏環境資源科学研究分野
15:00	休憩
15:15	高校生ポスター表彰式

6月8日(土) 東京農業大学1号館5階

時刻	口頭発表		
	A会場(531教室)	B会場(532教室)	C会場(542教室)
	座長 内山茂	座長 大園享司	座長 星野保
15:45		B01 筑波大学菅平高原実験センターにおけるアカマツ針葉上の <i>Coleosporium</i> 属菌の種構成と分布 ○鈴木浩之 <sup>1)</sup> ・山岡裕一 <sup>1)</sup> ・出川洋介 <sup>1)</sup> ・広瀬 大 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 筑波大生命環境; <sup>2)</sup> 日大薬)	C01 発光性きのこ培養菌糸体の発光 ○寺嶋芳江 <sup>1)</sup> ・根田 仁 <sup>2)</sup> ・高橋春樹・広井 勝 <sup>3)</sup> ・山田理恵 <sup>4)</sup> ・佐藤 哲 <sup>4)</sup> ( <sup>1)</sup> 琉大熱生研; <sup>2)</sup> 森林総研きのこ・微生物; <sup>3)</sup> 郡山女子大; <sup>4)</sup> 東北電子産業)
16:00	A02 担子菌ブクシニア亜門の新規分類群 ○Le Thi Hoang Yen <sup>1)</sup> ・鶴海泰久 <sup>2)</sup> ・Duong Van Hop <sup>1)</sup> ・安藤勝彦 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> ベトナム国家大学ハノイ校; <sup>2)</sup> NBRC)	B02 ヤブツバキ落葉に定着するリテイズマ科菌類の菌糸成長に対する温度の影響 ○松倉君予 <sup>1)</sup> ・広瀬大 <sup>2)</sup> ・山岡裕一 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 筑波大生命環境; <sup>2)</sup> 日大薬)	C02 シイタケの子実体形態変異体の誘発分離とその性質 ○小島 靖 <sup>1)</sup> ・松本晃幸 <sup>2)</sup> ・奥田康仁 <sup>2)</sup> ・村口 元 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 奈良県森技セ; <sup>2)</sup> 鳥取大農; <sup>3)</sup> 秋田県立大)
16:15	A03 チャワンタケ目3種におけるPSPs形成について ○森下奈津子・出川洋介 (筑波大菅平)	B03 アカマツ立枯れ木の分解に伴う菌類群集の遷移 ○深澤遊 <sup>1)</sup> ・陶山佳久 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 東北大 FSC)	C03 シロキクラゲとクロコブタケの高分子多糖類に対する反応性の比較 ○福田泰久 <sup>1)</sup> ・池永知世 <sup>1)</sup> ・白坂憲章 <sup>1)</sup> ・楠田瑞穂 <sup>2)</sup> ・山内政明 <sup>3)</sup> ・寺下隆夫 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 近大農応生化; <sup>2)</sup> 大阪府大生資循環工研; <sup>3)</sup> エムシーテクノオフィス)
	座長 出川洋介	座長 深沢遊	座長 田中栄爾
16:30	A04 大分県で発見された日本新産種 <i>Mattilomyces terfezioides</i> について ○村上康明 <sup>1)</sup> ・佐々木廣海 <sup>2)</sup> ・保坂健太郎 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 大分県農林水研指セ; <sup>2)</sup> 神奈川県藤沢市; <sup>3)</sup> 国立科学博物館)	B04 和歌山県産ナガキイムシ <i>Platypus</i> sp. の坑道の菌類群集 ○遠藤力也 <sup>1)</sup> ・升屋勇人 <sup>2)</sup> ・大熊盛也 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 理研 BRC-JCM; <sup>2)</sup> 森林総研東北)	C04 卵菌雪腐病菌の凍結耐性と環境適応 村上諒 <sup>1)</sup> ・矢島由佳 <sup>2)</sup> ・貴田健一 <sup>3)</sup> ・十倉克幸 <sup>3)</sup> ・東條元昭 <sup>3)</sup> ・○星野保 <sup>1,2)</sup> ( <sup>1)</sup> 北大院生命; <sup>2)</sup> 産総研; <sup>3)</sup> 大阪府大生命環境)
16:45	A05 クロミノクチキムシタケの分類学的研究 ○内山茂 <sup>1)</sup> ・清水公德 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 理研・中村特別研究室; <sup>2)</sup> 千葉大真菌センター)	B05 知床羅臼岳の針広混交林における樹木葉内生菌の標高分布とその制限要因 阪口瀬理奈 <sup>1)</sup> ・松岡俊将 <sup>1)</sup> ・川口恵里 <sup>2)</sup> ・森章 <sup>3)</sup> ・広瀬大 <sup>4)</sup> ・○大園享司 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 京大生態研セ; <sup>2)</sup> 京大理; <sup>3)</sup> 横浜国大; <sup>4)</sup> 日大薬)	C05 ラッカーゼ非存在下での2,2'-Azino-bis(3-ethylbenzothiazoline-6-sulfonate)カチオンラジカルのpH安定性とアゾ染料 Evans blue に対する脱色活性 ○池田隆造 <sup>1)</sup> ・平修 <sup>2)</sup> ・近藤隆一郎 <sup>3)</sup> ・後藤秀幸 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 石川県立大食品科学; <sup>2)</sup> 北陸先端大マテリアルサイエンス; <sup>3)</sup> 九大院農サステイナブル資源科学)
17:00	A06 形態および分子系統に基づく狭義 <i>Lambertella</i> の定義 ○趙彦傑 <sup>1)</sup> ・細矢剛 <sup>2)</sup> ・柿寫真 <sup>1)</sup> ・山岡裕一 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 筑波大院生命環境; <sup>2)</sup> 国立科学博物館植物研究部)	B06 植物内生菌の宿主特異性と生産物質の多様性における相関 ○朴珠英 <sup>1)</sup> ・鈴木伸一 <sup>1)</sup> ・熊谷健夫 <sup>2)</sup> ・川原信夫 <sup>2)</sup> ・永井浩二 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> アステラスリサーチテクノロジー(株); <sup>2)</sup> (独)医薬基盤研 薬用植物資源研究センター)	C06 食用きのこ由来グルタミン酸デカルボキシラーゼ (GAD) の比較 ○岩本和子 <sup>1)</sup> ・吉田敬洋 <sup>1)</sup> ・楠田瑞穂 <sup>2)</sup> ・福田泰久 <sup>1)</sup> ・寺下隆夫 <sup>1)</sup> ・白坂憲章 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 近大農応生化; <sup>2)</sup> 大阪府大生資循環工研)
17:15	A07 <i>Exserticlava vasiformis</i> の分生子形成様式と培養性状 ○土屋有紀 <sup>1)</sup> ・須藤ユリ <sup>1)</sup> ・飯野拓真 <sup>2)</sup> ・矢吹俊裕 <sup>3)</sup> ・奥田徹 <sup>4)</sup> ( <sup>1)</sup> (株)ハイファジェネシス; <sup>2)</sup> 玉川大農学部; <sup>3)</sup> 玉川大農学研究科; <sup>4)</sup> 玉川大学術研)	B07 既存ならびに新規シーケンスデータベースによるブナ林における内生菌類相の分子同定 ○細矢 剛 <sup>1)</sup> ・保坂健太郎 <sup>1)</sup> ・広瀬 大 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 科博植物; <sup>2)</sup> 日大薬)	C07 <i>Aspergillus pseudodeflectus</i> の産生物質と塩濃度による産生物質の変化について ○井上信宏 <sup>1)</sup> ・若菜大悟 <sup>1)</sup> ・板橋武史 <sup>1)</sup> ・矢口貴志 <sup>2)</sup> ・細江智夫 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 星薬大; <sup>2)</sup> 千葉大真菌セ)
18:00	懇親会		

6月9日(日) 東京農業大学1号館5階

時刻	口頭発表		
	A会場(531教室)	B会場(532教室)	C会場(542教室)
	座長 根田仁	座長 岡田元	座長 稲葉重樹
9:00	A08 北日本産ヌメリガサ科菌類に関する研究 7. 2形性の担子器および胞子をもつアカヤマタケ属の2新種について ○工藤伸一 <sup>1</sup> ・長澤栄史 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 青森市戸山; <sup>2</sup> 菌蕈研究所)	B08 食器洗い乾燥機は好温性カビの孵卵器か? ○浜田信夫 (大阪市立自然史博物館)	C08 菅平高原より分離されたロブロミセス目(ツボカビ門)の未記載種1種について ○瀬戸健介・出川洋介 (筑波大院生命環境)
9:15	A09 カヤバノクスギタケの系統的位置と生態的特性 ○糟谷大河 <sup>1</sup> ・黒川悦子 <sup>2</sup> ・橋屋誠 <sup>3</sup> ・名部みち代 <sup>2</sup> ・名部光男 <sup>2</sup> ・宇野邦彦 <sup>4</sup> ・保坂健太郎 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 千葉科学大危機管理; <sup>2</sup> 菌類懇話会; <sup>3</sup> 富山県中央植物園; <sup>4</sup> 国立科博)	B09 <i>Byssochlamys fulva</i> 子嚢胞子の加熱による発芽について ○上田成一・浅川美乃 (長崎県立大看護栄養)	C09 タンパク質コード遺伝子を用いたツボカビ類の分子系統と分類 ○関本訓士・Peter M. Letcher・Martha J. Powell (アラバマ大・生物科学)
9:30	A10 フウセンタケ属ニセフウセンタケ節の日本新産種2種について ○宮内信之助 <sup>1</sup> (長岡技術科学大学)	B10 重金属汚染環境指標としての地衣類の有用性の評価 ○末岡裕理 <sup>1</sup> ・榊原正幸 <sup>1</sup> ・世良耕一郎 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 愛媛大学院理工; <sup>2</sup> 岩手医科大サイクロトロンセ)	C10 <i>Endogone</i> 属の系統学的検討ならびに <i>E. pisiformis</i> および <i>E. incrassata</i> の分離培養 ○山本航平 <sup>1</sup> ・出川洋介 <sup>2</sup> ・広瀬大 <sup>3</sup> ・山田明義 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 信大農; <sup>2</sup> 筑波大菅平; <sup>3</sup> 日大薬学)
9:45	A11 白山のハイマツ帯に優占するハクサンアカネハツの学名 ○河原栄 <sup>1</sup> ・糟谷大河 <sup>2</sup> ・下野義人 <sup>3</sup> ・松岡俊将 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 金沢大保健; <sup>2</sup> 千葉科学大危機管理; <sup>3</sup> 三重大生資; <sup>4</sup> 京大農)	B11 葉面由来の糸状菌の酵素による圃場での農業用生分解性マルチフィルムの分解促進 ○小坂橋基夫・北本宏子・渡部貴志・山下(鮫島)結香・篠崎由紀子・藤井毅・對馬誠也 (農環研)	C11 <i>Aspergillus</i> section <i>Fumigati</i> の新種と種の再評価について ○松澤哲宏 <sup>1</sup> ・矢口貴志 <sup>1</sup> ・五ノ井透 <sup>1</sup> ・Paride Abliz <sup>2</sup> ・Galba M. Campos Takaki <sup>3</sup> ・堀江義一 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 千葉大真菌センター; <sup>2</sup> 新疆医大・中国; <sup>3</sup> カトリック大学ペルナンブコ校・ブラジル)
	座長 服部力	座長 白水貴	座長 中島千晴
10:00	A12 フウリタケ型担子器果を形成する日本産2種について ○中野遼 <sup>1</sup> ・早乙女梢 <sup>2</sup> ・中桐昭 <sup>2</sup> ・白水貴 <sup>2</sup> ・前川二太郎 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 鳥取大院農; <sup>2</sup> 鳥取大農)	B12 小笠原諸島父島・母島におけるクロサイワイタケ科菌類 ○升屋勇人 <sup>1</sup> ・服部力 <sup>2</sup> ・竹本周平 <sup>1</sup> ・太田祐子 <sup>1</sup> ・秋庭満輝 <sup>1</sup> ・佐橋憲生 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 森林総研; <sup>2</sup> 森林総研関西)	C12 日本産 <i>Dinemasporium</i> 属菌の種分類について ○橋本陽・佐藤玄樹・松田考広・平山和幸・田中和明 (弘前大農生)
10:15	A13 日本産 <i>Hypoholoma fasciculare</i> (ニガクリタケ)の分類学的再評価 ○西田麻理奈 <sup>1</sup> ・早乙女梢 <sup>1</sup> ・長澤栄史 <sup>2</sup> ・中桐昭 <sup>1</sup> ・前川二太郎 <sup>1</sup> ・清水邦義 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 鳥取大農; <sup>2</sup> 菌蕈研; <sup>3</sup> 九州大院農)	B13 センベイトケ <i>Corioloopsis strumosa</i> によるウバメガシへの枯損被害 ○小林真吾 <sup>1</sup> ・池内啓子 <sup>2</sup> ・沖野登美雄 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 愛媛県総合科学博物館; <sup>2</sup> 愛媛きこの観察会)	C13 マッサリナ亜目(クロイボタケ綱・プレオスポラ目)の分類学的再検討 ○田中和明 <sup>1</sup> ・平山和幸 <sup>1</sup> ・橋本陽 <sup>1</sup> ・白水貴 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 弘前大農生; <sup>2</sup> 科博・学振PD)
10:30	A14 リボソームDNAからみた北欧の森林と日本の冷温帯林から亜寒帯林に発生するベニタケ属菌の類似性 ○下野義人 <sup>1</sup> ・糟谷大河 <sup>2</sup> ・河原栄 <sup>3</sup> ・高松進 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 三重大生資; <sup>2</sup> 千葉科学大危機管理; <sup>3</sup> 金沢大保健)	B14 Abundance and Distribution of <i>Phytophthium</i> Species in Japan. ○Baten Md. Abdul <sup>1</sup> , Haruhisa Suga <sup>2</sup> and Koji Kageyama <sup>1</sup> . ( <sup>1</sup> River Basin Research Center, Gifu Univ. <sup>2</sup> Life Science Research Center, Gifu Univ.)	C14 日本国内で分離された <i>Trichoderma</i> 属 <i>Longibrachiatum Calde</i> について ○矢吹俊裕 <sup>1</sup> ・土屋有紀 <sup>2</sup> ・宮崎和弘 <sup>4</sup> ・奥田徹 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 玉川大院農; <sup>2</sup> 榊ハイフアジェネシス; <sup>3</sup> 玉川大学学術研; <sup>4</sup> 森林総研九州支所)
10:45	A15 アジア産テングタケ属タマゴタケ節の分子系統解析 ○遠藤直樹 <sup>1</sup> ・Cherdchai Phosri <sup>2</sup> ・Wanwisa Fangfuk <sup>3</sup> ・山田明義 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 信大農; <sup>2</sup> ヒブソンクラームラチャパット大; <sup>3</sup> ウタラジットラチャパット大)	B15 汽水化が進行する湖山池の菌類相とその変化 ○足立陽子 <sup>1</sup> ・早乙女梢 <sup>2</sup> ・中桐昭 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 鳥取大院農; <sup>2</sup> 鳥取大農)	
11:00	ポスターコアタイム		

6月9日(日) 東京農業大学1号館5階

時刻	口頭発表		
	A会場(531教室)	B会場(532教室)	C会場(542教室)
	座長 太田祐子	座長 佐久間大輔	座長 田中和明
13:00	A16 日本産 <i>Fomes fomentarius</i> の分類学的研究 ○大西一路 <sup>1)</sup> ・向井哲也 <sup>1)</sup> ・服部力 <sup>2)</sup> ・前川二郎 <sup>1)</sup> ・中桐昭 <sup>1)</sup> ・早乙女梢 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 鳥取大農; <sup>2)</sup> 森林総研関西)	B16 きのこと標本のDNA保存状態と乾燥温度および燻蒸剤がもたらす影響評価 ○保坂健太郎 <sup>1)</sup> ・宇野邦彦 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 国立科博)	C16 亜高山帯針葉樹の樹皮下キイムシと関係する <i>Grosmannia piceiperda</i> complex の分子系統学的検討 ○安藤裕萌 <sup>1)</sup> ・升屋勇人 <sup>2)</sup> ・山岡裕一 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 筑波大生命環境; <sup>2)</sup> 森林総研)
13:15	A17 マングローブ林から採取した <i>Phlebia acanthocystis</i> の生物学的特性 ○山邊結子・早乙女梢・中桐昭・霜村典宏・前川二郎(鳥大農)・清水邦義(九大農)	B17 単独に抽出した670種類のキノコ類DNAを人為的に混合し、次世代シーケンサ(Roche GS Junior)で疑似メタゲノム解析を行った場合、どのように検出できるのか? ○宇野邦彦 <sup>1)</sup> ・南京沃 <sup>1)</sup> ・保坂健太郎 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 国立科学博物館植物研究部)	C17 ヤエムグラとヤガミスゲの間を異種寄生する <i>Puccinia</i> 属菌の1種 ○岡根 泉 <sup>1)</sup> ・山岡裕一 <sup>1)</sup> ・柿島 眞 <sup>1)</sup> ・阿部淳一 <sup>1)</sup> ・小幡和男 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 筑波大生命環境; <sup>2)</sup> 茨城県博)
13:30	A18 マレーシアより採集した <i>Polyporus</i> 属(広義) <i>Melanopus</i> グループの1未記載種 ○早乙女梢 <sup>1)</sup> ・本間悠 <sup>1)</sup> ・中桐昭 <sup>1)</sup> ・前川二郎 <sup>1)</sup> ・服部力 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 鳥取大農; <sup>2)</sup> 森林総研関西)	B18 木材腐朽菌の未知系統を効率的に見つけて、狙って、採る方法 ○白水 貴 <sup>1)</sup> ・廣瀬 大 <sup>2)</sup> ・谷亀高広 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 国立科学博物館・学振PD; <sup>2)</sup> 日本大薬; <sup>3)</sup> 北大植物園)	C18 米国産絶滅危惧針葉樹フロリダカヤの胴枯病原菌 <i>Fusarium torreyae</i> の新種記載 ○青木孝之 <sup>1)</sup> ・J.A. Smith <sup>2)</sup> ・L.L. Mount <sup>3)</sup> ・D.M.Geiser <sup>4)</sup> ・K. O'Donnell <sup>5)</sup> ( <sup>1)</sup> 生物研; <sup>2)</sup> フロリダ大; <sup>3)</sup> Dellavalle Lab. Inc.; <sup>4)</sup> ペンシルバニア州立大; <sup>5)</sup> NCAUR, USDA-ARS)
13:45	A19 <i>Gomphus purpuraceus</i> (オオムラサキアンズタケ)の系統分類 ○安藤洋子 <sup>1)</sup> ・長澤栄史 <sup>2)</sup> ・前川二郎 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 鳥取大連農; <sup>2)</sup> 菌蕈研; <sup>3)</sup> 鳥取大農)	B19 マツ花粉釣菌法を用いた海生ツボカビ類の予備的探索 ○稲葉重樹・上條智昭(NBRC)	C19 日本産 <i>Alternaria</i> 属菌の分子系統的多様性 ○中島千晴 <sup>1)</sup> ・伊藤眞 <sup>1)</sup> ・西川盾士 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 三重大院生資; <sup>2)</sup> サカタのタネ)
	座長 遠藤力也	座長 松田陽介	座長 清水公徳
14:00	A20 筑波山産アミカ科幼虫から検出された <i>Stachylina</i> 属(ハルペラ目)の一種について ○佐藤大樹(森林総研)	B20 夏咲きネジバナのラン型菌根から分離した <i>Epulorhiza</i> 属の未記載種1種について ○藤森祥平・阿部淳一・山岡裕一(筑波大生命環境)	C20 網羅的系統解析によって明らかになった <i>Golovinomyces</i> 属ウドンコカビの進化と植物との密接な関係 ○高松 進 <sup>1)</sup> ・松田沙苗 <sup>1)</sup> ・Banga Grigaliunaite <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 三重大院; <sup>2)</sup> リトアニア植物研究所)
14:15	A21 昆虫糞より分離された <i>Basidiobolus</i> 属の未記載種 ○陶山舞 <sup>1)</sup> ・稲葉重樹 <sup>2)</sup> ・出川洋介 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 筑波大菅平; <sup>2)</sup> NBRC)	B21 菌従属栄養植物キリシマシャクジョウとルリシャクジョウの菌根菌に対する高い特異性 ○辻田有紀 <sup>1)</sup> ・馬田英隆 <sup>2)</sup> ・遊川知久 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 東北大植物園; <sup>2)</sup> たかなべきのこ研究所; <sup>3)</sup> 国立科博筑波実験植物園)	C21 A new <i>Phytophthora</i> species causing Phytophthora rot of rose and strawberry in Japan ○Rahman Mohammad Ziaur <sup>1)</sup> , Seiji Uematsu <sup>2)</sup> , Toru Takeuchi <sup>3)</sup> , Kayo Shirai <sup>3)</sup> , Haruhisa Suga <sup>4)</sup> and Koji Kageyama <sup>5)</sup> . ( <sup>1)</sup> The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu Univ., <sup>2)</sup> Chiba Prefectural Agriculture and Forestry Research Center, <sup>3)</sup> Hokkaido Central Agricultural Experiment Station, <sup>4)</sup> Life Science Research Center, Gifu Univ. <sup>5)</sup> River Basin Research Center, Gifu Univ.)

6月9日(日) 東京農業大学1号館5階

時刻	口頭発表		
	A会場(531教室)	B会場(532教室)	C会場(542教室)
	座長 遠藤力也	座長 松田陽介	座長 清水公徳
14:30	A22 カマドウマ科昆虫の腸管内にトリコミクス様ステージをもつキクセラ目の一新属 ○出川洋介 (筑波大菅平)	B22 マツタケ単一子実体由来の胞子分離株集団の選抜と培養特性 ○早川記央 <sup>1)</sup> ・村田仁 <sup>2)</sup> ・山田明義 <sup>1)</sup> ・ ( <sup>1)</sup> 信大院総合工学系研究科, <sup>2)</sup> 森林総研)	C22 日本産 <i>Pythium splendens</i> には2つの分子系統群が存在する 池田晴佳 <sup>1)</sup> ・亀川 藍 <sup>2)</sup> ・埋橋志穂美 <sup>3)</sup> ・Radmer, Lorien E. <sup>1)</sup> ・鈴木啓史 <sup>4)</sup> ・黒田克利 <sup>4)</sup> ・舟久保太一 <sup>5)</sup> ・市川和規 <sup>6)</sup> ・○東條元昭 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 大阪府大生命環境; <sup>2)</sup> 沖縄県庁; <sup>3)</sup> AAFC Saskatoon Research Centre; <sup>4)</sup> 三重農研; <sup>5)</sup> 山梨総農セ; <sup>6)</sup> 山梨総理研)
14:45	A23 担子菌類子実体内に生息する双翅目類幼虫の腸管内胞子の動態観察 ○北林慶子 <sup>1)</sup> ・保坂健太郎 <sup>1)</sup> ・矢口行雄 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 東京農大; <sup>2)</sup> 国立科博)	B23 N源およびFe源がマツタケ菌糸体生長および形態に与える影響 ○田崎徳也 <sup>1)</sup> ・近藤隆一郎 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 九大院生資環; <sup>2)</sup> 九大院農)	C23 特異的プライマーを用いたPCR法による植物組織からのさび病菌DNAの検出 ○三輪恵実・岡根泉・柿寫眞・山岡裕一(筑波大院生命環境)
	座長 保坂健太郎	座長 山田明義	座長 本橋慶一
15:00	A24 野生きのこの放射性セシウム ○根田仁 <sup>1)</sup> ・砂川政英 <sup>1)</sup> ・渡部秀行 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 森林総合研究所; <sup>2)</sup> 福島林研セ)	B24 ツツジ科植物イチヤクソウにおける菌根菌の多様性 ○松田陽介 <sup>1)</sup> ・中野美穂 <sup>2)</sup> ・小長谷啓介 <sup>1)</sup> ・伊藤進一郎 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 三重大院生資; <sup>2)</sup> 三重大生資)	C24 ウシゴソヒトヨタケの子実体原基形態異常・未成熟突然変異の原因遺伝子 <i>mal1</i> の次世代シーケンサー解析による迅速特定 ○村口 元 <sup>1)</sup> ・畑中こずえ <sup>1)</sup> ・松本晃幸 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 秋田県立大生物資源; <sup>2)</sup> 鳥取大農)
15:15	A25 福島県内における野生きのこの放射性セシウム濃度の動向 ○広井勝 <sup>1)</sup> ・桧垣正吾 <sup>2)</sup> ・保坂健太郎 <sup>3)</sup> ・後藤康彦 <sup>4)</sup> ・野村貴美 <sup>5)</sup> ( <sup>1)</sup> 郡山女子大; <sup>2)</sup> 東大 RIC; <sup>3)</sup> 国立科博; <sup>4)</sup> 菌類懇話会; <sup>5)</sup> 東大院工)	B25 本邦亜熱帯林における外生菌根菌群集の時空間変化 ○松岡俊将 <sup>1)</sup> ・阪口瀬理奈 <sup>1)</sup> ・川口恵里 <sup>2)</sup> ・広瀬大 <sup>3)</sup> ・大園享司 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 京大生態研セ; <sup>2)</sup> 京大理; <sup>3)</sup> 日大薬)	C25 栽培きのこのウスヒラタケのドラフトゲノムシーケンスを用いたSSRマーカーの単離 ○船越太地 <sup>1)</sup> ・奥田康仁 <sup>1)</sup> ・小島 靖 <sup>2)</sup> ・村口 元 <sup>3)</sup> ・松本晃幸 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 鳥取大農; <sup>2)</sup> 奈良県森技セ; <sup>3)</sup> 秋田県立大生物資源)
15:30	A26 栃木県内で採取された野生きのこの放射性セシウム ○大橋洋二・谷山奈緒美・長嶋恵里子(栃木県林業センター)	B26 ラン科サカネラン属における菌従属栄養性の進化に伴う菌根菌の変遷 ○谷亀 高広 <sup>1)</sup> ・辻田 有紀 <sup>2)</sup> ・岩瀬 剛二 <sup>3)</sup> ・遊川 知久 <sup>4)</sup> ( <sup>1)</sup> 北大植物園; <sup>2)</sup> 東北大植物園; <sup>3)</sup> 帝京科学大学; <sup>4)</sup> 国立科学博物館植物園)	C26 <i>Aspergillus niger</i> のフモニシンクラスター遺伝子の機能解析 ○清水公徳 <sup>1)</sup> ・中川博之 <sup>2)</sup> ・橋本レイコ <sup>3)</sup> ・陰地義樹 <sup>4)</sup> ・浅野勝佳 <sup>4)</sup> ・川本進 <sup>1)</sup> ・高橋治男 <sup>1,5)</sup> ・横山耕治 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 千葉大学真菌セ; <sup>2)</sup> 農研機構食総研; <sup>3)</sup> 千葉県衛研; <sup>4)</sup> 奈良県保健環境セ; <sup>5)</sup> 国立医薬品食品衛生研)
15:45	A27 富士山の野生きのこに含まれる放射性セシウム濃度(2012) ○後藤康彦 <sup>1)</sup> ・柴田尚 <sup>2)</sup> ・桧垣正吾 <sup>3)</sup> ・保坂健太郎 <sup>4)</sup> ・広井勝 <sup>5)</sup> ・野村貴美 <sup>6)</sup> ( <sup>1)</sup> 菌類懇話会; <sup>2)</sup> 山梨県森林研; <sup>3)</sup> 東大 RIC; <sup>4)</sup> 国立科博; <sup>5)</sup> 郡山女子大; <sup>6)</sup> 東大院工)	B27 モンゴルステップ草原のアーバスキュラー菌根菌 Altansukh Goomaral <sup>1)</sup> ・Jamsran Undarmaa <sup>2)</sup> ・岩瀬剛二 <sup>3)</sup> ・松本晃幸 <sup>4)</sup> ・○大和政秀 <sup>4)</sup> ( <sup>1)</sup> 鳥取大院農; <sup>2)</sup> モンゴル国立農大; <sup>3)</sup> 帝京科学大生命環境; <sup>4)</sup> 鳥取大農)	C27 単細胞微生物の貧栄養環境下における haploid/diploid 世代の相対的優位性についての数理的検討 ○別所和博 <sup>1)</sup> ・Troy Day <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 水産総合研究センター瀬戸内海区; <sup>2)</sup> Queen's University)
16:00	A28 サツキツツジもち病罹病葉の放射性セシウムの蓄積について ○阿部淳一 <sup>1)</sup> ・保坂健太郎 <sup>2)</sup> ・大村嘉人 <sup>2)</sup> ・柿寫 眞 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 筑波大生命環境; <sup>2)</sup> 科博)	B28 稲こうじ病菌 ( <i>Villosiclava virens</i> ) の土壌感染 ○田中栄爾 <sup>1)</sup> ・伊藤望 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 石川県立大)	
16:30	閉会式		

ポスター発表 東京農業大学 1号館 6階 多目的ホール

D会場	
時間	コアタイム 6月9日(日)11:00~13:00
P01	野生カワラタケの放射性セシウム ○砂川政英 <sup>1)</sup> ・根田仁 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 森林総合研究所)
P02	木材保存に用いる <i>Trichoderma</i> spp. 菌株におけるより高次元の選抜要因 ○富樫 巖 <sup>1)</sup> ・高橋 剛 <sup>2)</sup> ・渡部智弘 <sup>1)</sup> ・原 大貴 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 旭川高専; <sup>2)</sup> 釧路高専)
P03	京都府・大阪府レッドリスト改訂のための基礎資料—大型菌類多様性の構造 ○佐久間大輔 <sup>1)</sup> ・今村彰生 <sup>1)2)</sup> ( <sup>1)</sup> 大阪市立自然史博物館; <sup>2)</sup> 北海道教育大学旭川)
P04	トガサワラ林分における外生菌根菌の埋土孢子群集 ○村田政穂 <sup>1)</sup> ・木下晃彦 <sup>1)</sup> ・奈良一秀 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 東大新領域)
P05	三宅島 2000年噴火後の植生回復土壌から分離された <i>Scolecobasidium</i> 属エンドファイトについて ○臼井絵里香 <sup>1)</sup> ・太田寛行 <sup>2)</sup> ・成澤才彦 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 農工大院連合農; <sup>2)</sup> 茨城大農)
P06	ドウダンツツジ挿し木へのエリコイド菌根菌様菌類の接種試験 ○小長谷啓介・松田陽介 (三重大院生資)
P07	無葉緑植物ツチアケビの地下部の内生菌相 ○小島広平・玉井裕・宮本敏澄・矢島崇 (北海道大院農)
P08	北海道石狩海岸林における外生菌根菌相 ○荒井洋樹 <sup>1)</sup> ・玉井裕 <sup>1)</sup> ・小長谷啓介 <sup>2)</sup> ・矢島崇 <sup>1)</sup> ・宮本敏澄 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 北大院農; <sup>2)</sup> 三重大院生資)
P09	<i>Talaromyces siamensis</i> FKA-61 株の抗真菌物質生産誘導に関する研究 ○野中健一 <sup>1)</sup> ・岩月正人 <sup>1),2)</sup> ・堀内俊輔 <sup>1)</sup> ・塩見和朗 <sup>1),2)</sup> ・大村 智 <sup>1)</sup> ・増間碌郎 <sup>1),2)</sup> ( <sup>1)</sup> 北里大生命研; <sup>2)</sup> 北里大院感染制御)
P10	糸状菌における種間コミュニケーションの分子機構解析のモデルとしての <i>Colletotrichum</i> 属菌の利用 ○辻 元人 (京府大院生環)
P11	マツタケの生産する菌体外β-ガラクトシダーゼの精製法の検討 ○亀井健吾 <sup>1)</sup> ・楠田瑞穂 <sup>2)</sup> ・小西康仁 <sup>3)</sup> ・白坂憲章 <sup>1)</sup> ・寺下隆夫 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 近大農応生化; <sup>2)</sup> 大阪府大生資循工研; <sup>3)</sup> 香蘭女子短大)
P12	宿主の異なるマツタケ菌の糖資化性 ○楠田瑞穂 <sup>1)</sup> ・上田光宏 <sup>1)</sup> ・白坂憲章 <sup>2)</sup> ・山中勝次 <sup>3)</sup> ・寺下隆夫 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 大阪府立大; <sup>2)</sup> 近畿大農学部; <sup>3)</sup> 京都菌類研究所)
P13	ヒガンバナ科の園芸観賞植物 <i>Crinum</i> × <i>powellii</i> Baker に赤斑病を引き起こす <i>Stagonosporopsis</i> sp. ○富岡啓介 <sup>1)</sup> ・埋橋志穂美 <sup>2)</sup> ・佐藤豊三 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 近中四農研; <sup>2)</sup> AAFC; <sup>3)</sup> 生物研)
P14	中国重慶市におけるシイ類樹木の衰退現象に関与する病原菌の探索 ○高橋由紀子 <sup>1)</sup> ・松村愛美 <sup>1)</sup> ・佐野太悠 <sup>1)</sup> ・福田健二 <sup>1)</sup> ・楊永川 <sup>2)</sup> ・伊藤進一郎 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 東大院新領域; <sup>2)</sup> 重慶大学; <sup>3)</sup> 三重大生物資源)
P15	新たに明らかになった小笠原諸島の菌類とその宿主 ○佐藤豊三 <sup>1)</sup> ・小野 剛 <sup>2)</sup> ・田中和明 <sup>3)</sup> ・服部 力 <sup>4)</sup> ( <sup>1)</sup> 生物研; <sup>2)</sup> 東京農林総研・ <sup>3)</sup> 弘前大学・ <sup>4)</sup> 森林総研関西)
P16	千葉・京都産のシカ糞から発生した日本新産ヒトヨタケ類2種 ○成谷哲 <sup>1)</sup> ・加藤恵美子 <sup>1)</sup> ・清水公徳 <sup>2)</sup> ・吹春俊光 <sup>3)</sup> ・金城典子 <sup>4)</sup> ( <sup>1)</sup> 千葉菌類談話会; <sup>2)</sup> 千葉大真菌センター; <sup>3)</sup> 千葉県立中央博; <sup>4)</sup> 東京医科歯科大学)
P17	天然記念物イリオモテヤマネコの糞から発生したヒトヨタケ類 ○吹春俊光 <sup>1)</sup> ・清水公徳 <sup>2)</sup> ・寺嶋芳江 <sup>3)</sup> ・永長大輔 <sup>4)</sup> ・杉谷香世 <sup>5)</sup> ・金城典子 <sup>6)</sup> ( <sup>1)</sup> 千葉県立中央博; <sup>2)</sup> 千葉大真菌センター; <sup>3)</sup> 琉球大学熱帯生物圏研究センター; <sup>4)</sup> 環境省那覇自然環境事務所西表事務所; <sup>5)</sup> 西表島エコツーリズム協会; <sup>6)</sup> 東京医科歯科大学)



D会場	
時間	コアタイム 6月9日(日)11:00~13:00
P18	福島県川俣町山木屋地区における野生きのこの放射性セシウム濃度 稲垣昌代 <sup>1)</sup> ・山西弘城 <sup>1)</sup> ・若林源一郎 <sup>1)</sup> ・芳原新也 <sup>1)</sup> ・伊藤哲夫 <sup>1)</sup> ・○白坂憲章 <sup>2)</sup> ・種坂英次 <sup>2)</sup> ・奥村博司 <sup>2)</sup> ・古川道郎 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 近畿大原研; <sup>2)</sup> 近畿大農; <sup>3)</sup> 福島県川俣町町長)
P19	新宿主植物ハガクレツリフネとシロドウダン上のうどんこ病菌の記録 ○藤岡佳代子 <sup>1)</sup> ・高松進 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 岡大自然科学研究科; <sup>2)</sup> 三重大院)
P20	マイタケ Partitivirus GfPV1 の性状と生物学的特性に関する研究 ○小松あき子 <sup>1)</sup> ・佐藤真之 <sup>1,2,3)</sup> ・土屋有紀 <sup>1,2)</sup> ・倉橋敦 <sup>3)</sup> ・近藤秀樹 <sup>4)</sup> ・鈴木信弘 <sup>4)</sup> ・西堀耕三 <sup>3)</sup> ・藤森文啓 <sup>1,2)</sup> ( <sup>1)</sup> 東京家政大学; <sup>2)</sup> ハイファジェネシス; <sup>3)</sup> 雪国まいたけ; <sup>4)</sup> 岡山大学)
P21	食用きのこ「ムキタケ」に関する研究 ○斎藤輝明 <sup>1)</sup> ・殿内暁夫 <sup>1)</sup> ・原田幸雄 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 弘前大学・院農生; <sup>2)</sup> 弘前大学)
P22	ヒダハタケ科の地下生菌 <i>Alpova</i> と <i>Melanogaster</i> 属の多様性と進化 ○木下晃彦 <sup>1)3)</sup> ・佐々木廣海 <sup>2)</sup> ・奈良一秀 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 東大新領域; <sup>2)</sup> 菌類懇話会; <sup>3)</sup> 科博)
P23	樹木から最近分離された菌類 7 種の分類学的特徴 ○金子 繁・佐藤豊三・青木孝之・澤田宏之・永井利郎・一木(植原)珠樹 (生物研)
P24	小笠原諸島母島産の「オオメシマコブ」および「メシマコブ」 ○服部力 <sup>1)</sup> ・太田祐子 <sup>2)</sup> ・升屋勇人 <sup>2)</sup> ・早乙女梢 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 森林総研関西; <sup>2)</sup> 森林総研; <sup>3)</sup> 鳥取大)
P25	コガネショウロタケの系統的位置 ○折原貴道 <sup>1)</sup> ・佐々木廣海 <sup>2)</sup> ・奈良一秀 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 神奈川県博; <sup>2)</sup> 菌類懇話会; <sup>3)</sup> 東大院新領域)
P26	<i>Synnemapestaloides</i> 属菌の形態学のおよび分子系統学的解析 ○関口麻央 <sup>1)</sup> ・金子繁 <sup>2)</sup> ・神田多 <sup>3)</sup> ・佐藤豊三 <sup>2)</sup> ・田中和明 <sup>4)</sup> ・渡辺京子 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 玉川大院農; <sup>2)</sup> 生物研; <sup>3)</sup> NPO みどりのお医者さん; <sup>4)</sup> 弘前大学)
P27	小笠原産と他地域産の“ <i>Fuscoporia ferrea</i> ”の分子系統学的関係 ○太田祐子 <sup>1)</sup> ・服部力 <sup>2)</sup> ・升屋勇人 <sup>1)</sup> ・S.S. Lee <sup>3)</sup> ・早乙女梢 <sup>4)</sup> ( <sup>1)</sup> 森林総研; <sup>2)</sup> 森林総研関西; <sup>3)</sup> マレーシア森林研究所; <sup>4)</sup> 鳥取大)
P28	飼料イネから分離される <i>Fusarium</i> spp. とそのかび毒産生性 ○月星隆雄・上垣隆一 (畜産草地研究所)
P29	本郷次雄標本の断片化した DNA 増幅の試み ○今村彰生 <sup>1)2)</sup> ・乾美浪 <sup>3)</sup> ・佐久間大輔 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 大阪市立自然史博物館; <sup>2)</sup> 北海道教育大学旭川; <sup>3)</sup> 奈良教育大学)

大会実行委員会

大会会長	矢口行雄	東京農業大学地域環境科学部電子顕微鏡室
実行委員	服部 力	森林総合研究所
実行委員	後藤康彦	菌類懇話会
実行委員	岡田早苗	東京農業大学応用生物科学部生物応用化学科
実行委員	柏木 豊	東京農業大学応用生物科学部醸造科学科
実行委員	門倉利守	東京農業大学応用生物科学部醸造科学科
実行委員	田中尚人	東京農業大学応用生物科学部菌株保存室
実行委員	穂坂 賢	東京農業大学短期大学部醸造学科
実行委員	本間裕人	東京農業大学短期大学部醸造学科
実行委員	江口文陽	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科
実行委員	大林宏也	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科
実行委員	本橋慶一	東京農業大学地域環境科学部電子顕微鏡室

高校生ポスター 東京農業大学 1号館 6階 多目的ホール

D 会場	
時間	コアタイム 6月8日(土) 11:00～13:00
HP01	アキノギンリョウソウとカワリハツの関係について 吉田昌代・竹中弘・住谷有規・田中優衣・宮田理沙・金澤隼太 (引率者: 高野信也) 茨城県立水戸第一高等学校
HP02	キノコは気温と降水量のどちらに依存して出現するのか ～六甲山のキノコの多様性を出現傾向から探る～ 石田初音・長田祐基・仁藤湧也・魚谷和秀 (引率者: 河合祐介) 兵庫県立御影高等学校環境科学部生物班
HP03	植物病原菌の研究 白井暁大・峯田諒・村石大輔・沼田勇人・竹中莉里香・萩本紗理・山田麻里衣 (引率者: 伊藤悠人) 品川区立戸越台中学校
HP04	変形菌の研究 変形体の「自分と他人」を見分ける力 増井真那 (引率者: 増井潔) 杉並区立松庵小学校6年
HP05	沖縄県内各離島からの土壌収集と土壌微生物の単離 小島まり (引率者: 田邊俊朗) 沖縄工業高等専門学校生物資源工学科
HP06	キノコに含まれる微量金属元素について 菅原遼 (引率者: 溝上豊) 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校
HP07	身近な廃棄物の資源化 増山七海 (引率者: 溝上豊) 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校
HP08	きのこ菌が木質化繊維の分解に及ぼす影響 法灵崎みづき・山崎勇大 (引率者: 澁谷圭治) 青森県立名久井農業高等学校
HP09	天然素材の抗菌作用を利用した防腐剤研究 ～アリシンの抽出及び抗菌作用の確認実験 但馬良輔・加藤拓哉・上田裕紀 (引率者: 大矢英樹) 岐阜県立岐阜農林高等学校

F 会場 (東京農業大学 1号館 6階 633 教室)

展示・交流

6月8日(土), 6月9日(日)

アマチュアの連絡会(有志)

第57回大会 アマチュア研究者の取り組み 2013 ー共通の取り組みを目指してー

佐野書店

菌類関係洋書, きのこグッズの展示および即売

株式会社日立ハイテクノロジーズ

卓上 SEM 展示

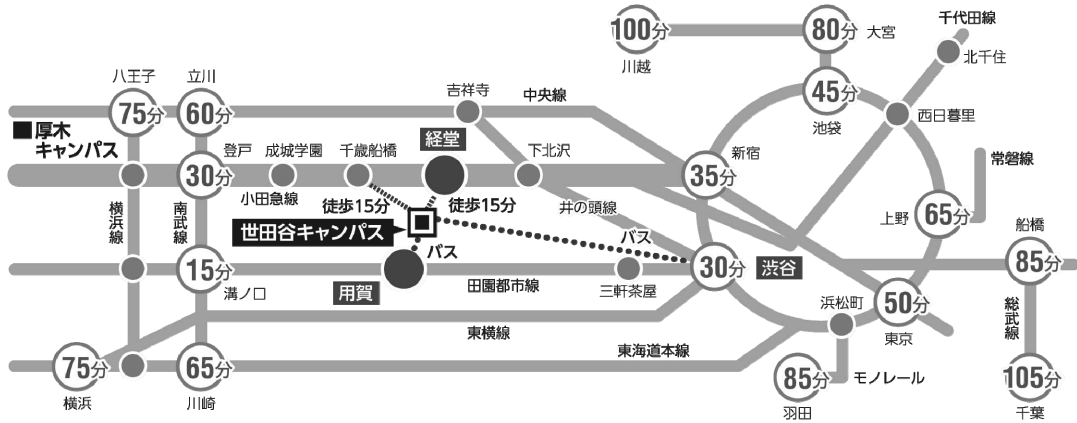
株式会社三啓

光学顕微鏡展示

## 東京農業大学世田谷キャンパスまでの交通経路

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

会場には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。



### 大会会場へのアクセス

大会会場である東京農業大学へのアクセス方法は、東京農業大学のホームページをご覧ください。

[http://www.nodai.ac.jp/access/map\\_s.html](http://www.nodai.ac.jp/access/map_s.html)

#### 1. 渋谷方面より

□バス <渋谷駅～農大前> (約30分)

- 小田急バス 成城学園前駅西口行・・・(渋24)  
調布駅南口・・・(渋26)
- 東急バス 成城学園前駅西口行・・・(渋24)  
祖師ヶ谷大蔵行・・・(渋23)

#### 2. 新宿・町田方面より

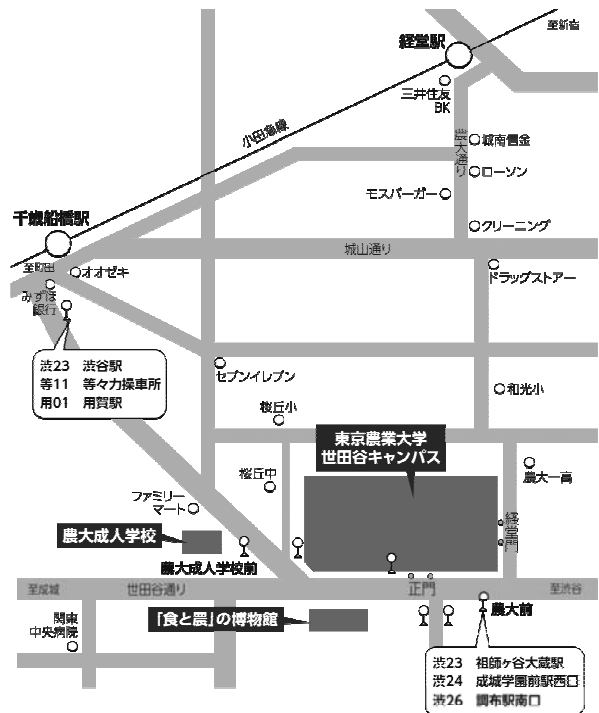
小田急線：◆経堂駅下車 徒歩15分  
◆千歳船橋駅下車 徒歩15分  
急行列車は平日の日中(10:00-17:30)および土休日の終日、経堂駅に停車します  
準急列車は平日の上り(新宿・千代田線方面)朝方ラッシュ時は経堂駅を通過しますのでご注意ください

#### 3. 横浜方面より

- 東急田園都市線:用賀駅下車 徒歩20分
- バス <用賀～農大前> (約10分)  
世田谷区民会館前・・・(園02)  
祖師ヶ谷大蔵行・・・(用01)

### 最寄り駅

小田急線経堂駅・千歳船橋駅からの徒歩ルート



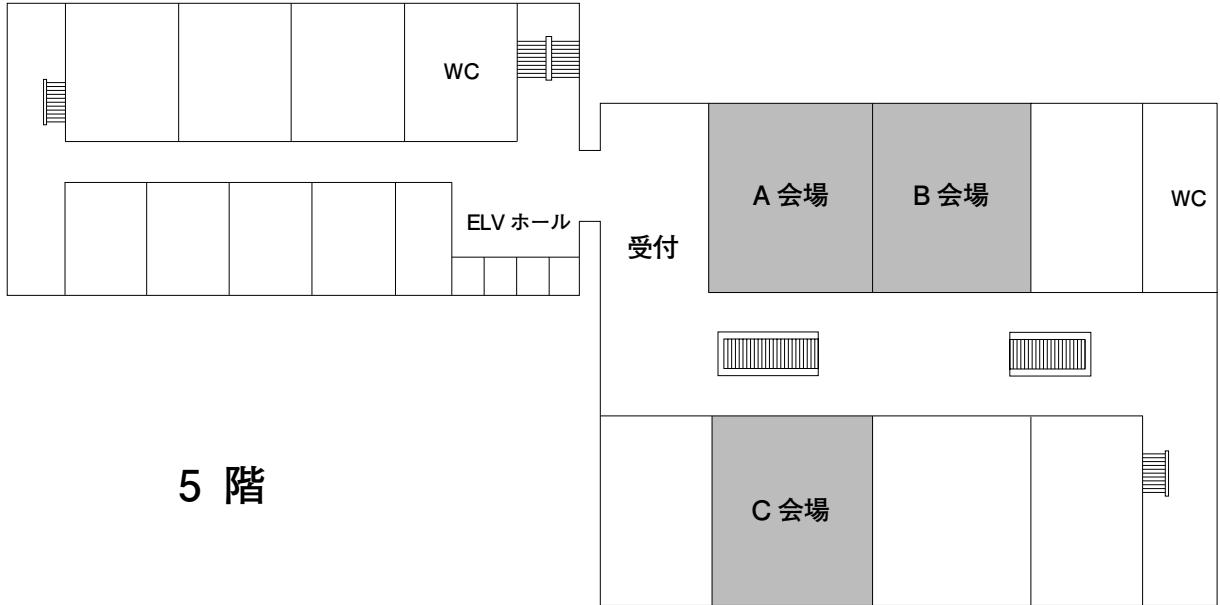
# 東京農業大学世田谷キャンパス



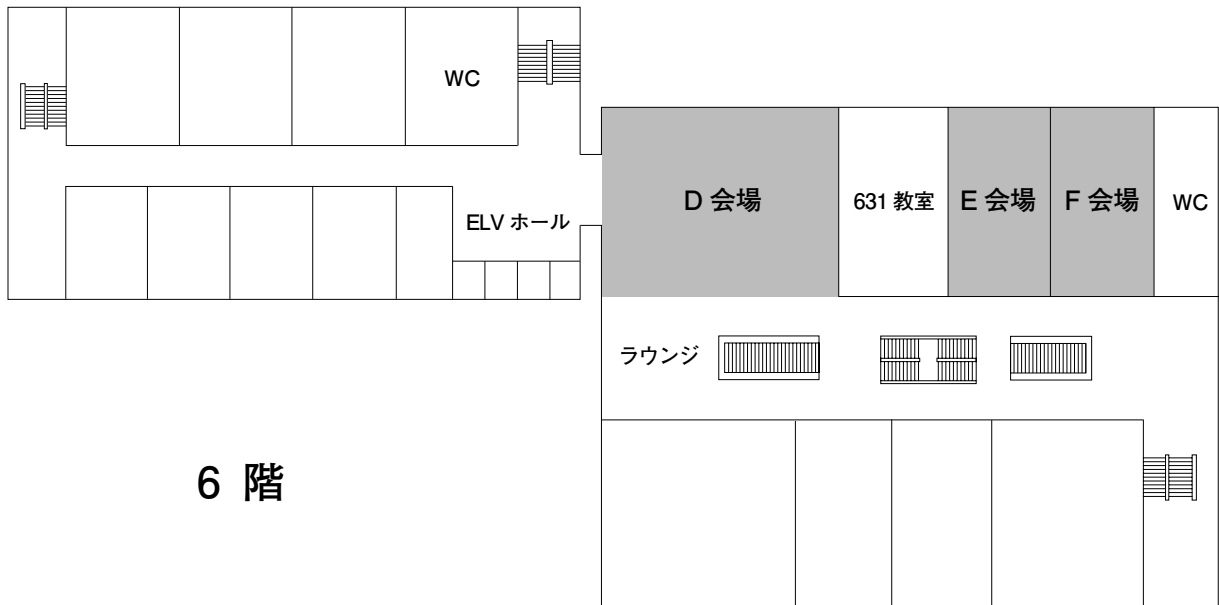
\*総合受付の場所にご注意ください。

8日(土)	8:00~15:00	百周年記念講堂2階
8日(土)	15:30~18:00	1号館5階
9日(日)	8:00~	1号館5階

# 大会会場案内図 (1号館)



5 階



6 階

## 大会講演座長一覧

日本菌学会受賞講演 奥田 徹
特別報告 青木孝之
公開シンポジウム 柏木 豊・江口文陽

### 一般講演座長

日 時		A 会場			B 会場		C 会場	
日	時	時間	座長名	演題番号	座長名	演題番号	座長名	演題番号
6 月 8 日  (土)	午後	15:45-16:30	内山 茂	A01-A03	大園 享司	B01-B03	星野 保	C01-C03
		16:30-17:30	出川 洋介	A04-A07	深沢 遊	B04-B07	田中 栄爾	C04-C07
6 月 9 日  (日)	午前	9:00-10:00	根田 仁	A08-A11	岡田 元	B08-B11	稲葉 重樹	C08-C11
		10:00-11:00	服部 力	A12-A15	白水 貴	B12-B15	中島 千晴	C12-C15
	午後	13:00-14:00	太田 祐子	A16-A19	佐久間大輔	B16-B19	田中和明	C16-C19
		14:00-15:00	遠藤 力也	A20-A23	松田 陽介	B20-B23	清水 公德	C20-C23
		15:00-16:15	保坂健太郎	A24-A28	山田 明義	B24-B28	本橋 慶一	C24-C27